



甲賀市信楽町朝宮地区は、市の最西端、京都との県境に位置する山間地域です。信楽の町中から国道307号を車で10分ほど走ると、曲線が美しい緑鮮やかな茶畑が見えてきます。この地域は約1200年の歴史を誇る日本最古級の銘茶「朝宮茶」の産地です。のちに天台宗の開祖となる最澄が中国より茶の実を持ち帰り、朝宮の岩谷山（仙禪寺）に植えたのが起源とされています。

■ 朝宮茶（甲賀市）

渋みが少なくまろやか



新茶のころの朝宮の茶畑＝甲賀市信楽町朝宮地区で



朝宮茶のサイトはこちら

い霧が発生しやすい地形、清浄な水や大気に恵まれていたお茶づくりに最適な条件がそろっています。

しかしながら、山間の急勾配に植えられた茶畑での作業は決して楽なものではありません。大型の機械が使用できず、山間地ゆえの重労働となります。また、その日の天気や温度管理に細心の注意を払う必要があります。

ど、茶農家の皆さんのさまざまな苦勞と、長きにわたる脈々と受け継がれてきた伝統と技が、独特のまろやかなうまみが特長の良質な茶葉を育ててきました。特に朝宮茶は香り高く、緑茶の最高峰とも言われるほどの高い品質で、日本五大銘茶にも数えられています。

健康志向の高まりや日本食ブームで海外からも日本茶が注目される中、朝宮の茶を求め訪れる外国の方も見受けられるようになりました。たくさんの方にのびのび朝宮茶を飲んでいただくことを目指しています。



信楽焼の茶器で入れた朝宮茶



これまでの「しが旅のススメ」はこちら

【アクセス情報】仙禪寺（甲賀市信楽町上朝宮）へはJR草津線か近江鉄道の貴生川駅から信楽高原鉄道乗り換えで、信楽駅よりタクシーで約15分。車の場合は、新名神高速道路信楽インターチェンジ（IC）から約25分。●信楽町観光協会 0748(82)2345

余（信楽町観光協会・松田晃）



しが旅のススメ

